

not used
5588-1

WILLIAM ANDERSON BEATTIE が
宣誓シ審問サレタ。

SHEPPHERDS 中佐ニヨリ、貴下ノ番號、名前及
位ハ何カ？

私ハ澳洲空軍第一二九八三三號飛行將校 WILLIAM ANDERSON BEATTIE デアリマス。

一九四二年ノ昭和十七年ノ九月私ハ²/₄獨逸中隊ノ一員デアリマシタ。ソノ月ニ私ハ中隊ト共ニチモール行ノ英帝國軍艦ダオヤジャニ乗船シマシタ。私ハチモールニ上陸シ、一九四二年ノ昭和十七年ノ十月デイリノ近クニ行キマシタ。當時日本軍ハPHLEHヲ占領シア居リマシタ。私ハ一九四二年ノ昭和十七年ノ十二月迄デイリ近隣ニ私ノ中隊ノ一分隊ト共ニ止ツテ居リマシタ。私ノ仕事ノ一部分ハデイリ占領ノ日本軍ニ關スル情報ヲ蒐集スル事デアリマシタ。

SHEPPHERDS 中佐ヨリ、二人ノローマンカトリック司祭、NOVERHO 神父トPHRES 神父ニ就イテ知ツテキル事ヲ教ヘテ下サイ。

NOVERHO 神父トPHRES 神父ハアイナロト云

5588-2

行政中心地ノ司祭デシタ。ソレハスロ地方ノ首都デシタ。私ハ彼等ヲ非常ニヨク知ツテ居リマシタ。ソシテ彼等ハ戦争ニ關スル限り、嚴正ナル中立者デアリマシタ。彼等ハ彼等自身ノ傳道ノ仕事ニダケ關心ヲ持ツテ居マシタ。

一九四二年ノ昭和十七年ノ十月上旬我々ハ偵察ノ爲數日アイナロヲ去リマシタ。スルト我々ノ知ラナイ間ニ、アリウノ方向カラ不意ニ日本軍ノ大偵察隊ガアイナロニヤツテ來マシタ。

數日經ツテアイナロニ戻ツテ來タ時ニ、私ハ二人ノ神父ガ住ンテ居ル家ニ行キ、ソコガ完全ニ掠奪サレテ居ルノヲ發見致シマシタ。神父達ハ何處ニ居ルカトノ問ニ對シ傳道部ノ少年ハ教會へ行ク様ニ教ヘテ呉レマシタ。私ハソコへ行ツテ、教會ノ外テ血ニ染ツタ着脱ヲ見マシタ。中ニ入ルニツレテ死體ガ不完全ニ埋メラレ、コンクリートノ床ガ掘リ起サレ、ソシテソノ上ニ木デ出來タ台ガオイテアルノニ氣ガツキマシタ。死體ハアマリニモ腐蝕シテ居リマシタノデ、殆ド見分ケガツキマセンデシタ。

彼等ハボルトガル人ダネ。。。。。ハイ

園下ヨリカ 彼等ハ白人デアツタカ。。。。。ハイ

彼等ハ神父ノ服裝ヲシテ居タカ。。。。。ハイ

彼等ガ死シテカラドノ恒続ツダカ見續ル事ガ出
來ルカ。。。。。十日乃至十四日内外ダト思
ヒマス。

佐ヨリ、原住民デ何ガ起ツ
 カラ貴下ニ告ゲタ人ハキルカ。・・・
 ハイ。私ハ彼等ノ家ノ世話ヲシテ居タ傳道部
 ノ少年ニ何カ起ツタカラ尋ネマスト、彼ハ日本
 軍ガ彼等ニ澳洲軍ハ何處ニ居ルカラ質問シタト
 教ヘテ呉レマシタ。ソノ二人ハ私達ノ居所ヲ明
 ラカニスル事ヲ拒絕シタノデシタ。

實際二人ハ我々ノ行方ヲ知ラナカツタト思ヘレ
マス。少年ハ二人ガ縛ラレテ居タト云ヒマシタ。
彼等ノ踝ハ一緒ニ括ラレ、頭ハ踝ノ所ニ括ラレ、
ソノ後、銃劍デ刺シ殺サレタト云ヒマシタ。

貴下ハ傳道部ノ少年ノ名前ヲ知ツテ居ルカ。
 イイエ存ジマセン。ソノ近隣ニハ獄人ノキリス
 ト教信者デアル酋長達ガ居リマス。

5588-14

ソノ中ノ何人カハコレヲ見タト云ヒマシタ。
然シ當時多勢ノ日本軍ガソコニ居リマシタノデ、
ソレヲ妨ゲル力ガナカツタノデシタ。酋長達ノ
中ニハアイテロノ近クノモンタン村ノ酋長ガ居
リマス。

日本軍ガ彼等ノ前進ヲ阻害スル爲ニ非武装原
住民ヲ用ヒタツアベノ攻撃ヲ記憶シテキルカ。

ハイ。ソレハ一九四二年ノ昭和十七年ノ十
二月十二日頃デシタ。ソノ時我々ハ他ノ陣地ニ
就ク爲ニ同場所カラデイリニ戻ル途中デシタ。
我々ハ行政機關所在地デアルアツアベノ外ノ小
村ニ一晚止ツテ居リマシタ。ソノ前夜、我々ヲ
ツアベテ日本守備兵ニ襲撃サレルト云フ情報ヲ
得マシタ。ソレハ無視スル能ハザル事デシタ。
我々ハ日本軍ヲ待伏スル爲村カラ三百ヤード離
レタ場所ニ居所ヲ定メ遮蔽シマシタ。我々が知
ラサレテ居タ通り日本軍ハ襲撃シテ来マシタ。
ソシテ村ニ對スル先鋒トシテ食人ノ非武装原地
人ヲ使用シマシタ。同時ニ彼等ハオーストラリ
ヤ軍ガ居ルト云フ疑ヲ持ツテ居タ。
我々ノ後方ノ谷ヲ越エテカツライ山ヲ襲撃シマ
シタ。雙眼鏡ヲ通シテ我々ハソノ地方ニ澤山ア
ツタ原地人ノ小屋ヲ片端カラ彼等ガ焼イテ居ル

5-8855

五十乃至六十人内外ダト思ハレマス。

倒レルノハ見マセンデシタガ彼女達ガ飛ビ出
スノハ見マシタ。ソシテ其ノ吻裏イ砲火カラ逃
レンガ爲ニ彼等谷ノ方ヘ遁ツテ行クノヲ見マシ
タ。我々ノ方ニ進ンデ居ル從隊ト平行シテ進ン
デ居ル隊モ其ノ通ル道筋ノ家々ヲ焼キ崩シ、
一齊ニ砲火ヲ浴ビセテ居マシタ。我々ハ此等
ノ家々カラ逃レ出ル人々ヲ見ル夢ガ出来マシタ。
ソレ以後擧テレ々ソノ地方ノ空中爲眞ニヨリ之
等ノ罹災地ガワカリマス。

ソレハ一九四二年／昭和十七年／十二月ノ出
來事ヲ示ス。ハイ

彼等ハ何部隊デアツタカ……山田大將所
屬ノ部隊デシタ。

のは因り日因日の中佐ニヨリ、人家ノ焼失ハ
 獨立シタ事例カ又ハ常習的行爲カ。

原住民間ニ我々ニ對スル援助ヲ不許トスベキ

9-8855-6

日本軍ノ行ナフ常套的以術デアリマス。

W. A. DEATHE

W. WEBB

証言者

以犯ニ於ケルオース

トラリヤ審査委員。議長